



航空管制人材育成プロジェクト



航空管制シミュレータ訓練システム



航空学校前での教官と訓練生



技能訓練修了証を受領した訓練生と教官



飛行方式（出発進入方式）作成訓練の様様

プロジェクト概要

内陸国であるマラウイ共和国において航空輸送は、人・モノの移動及び地域開発の観点から重要な交通・輸送手段である。同国の国家計画である「マラウイ成長開発戦略（Malawi Growth Development Strategy : MGDS）II（2011～2016年）」においても、運輸インフラ整備は9つの優先分野のひとつに位置付けられ、航空インフラについては貿易、観光及び投資に資するためにその継続的な改良を行うこととしている。

1970年代より日本政府はマラウイ政府に対し、同国玄関口であるカムズ国際空港のターミナルビル、航空管制及び航空保安無線施設の整備に対する支援を行ってきた。しかし、全国の航空施設を管轄するマラウイ民間航空局において、施設運用及び維持管理を担う人材不足、支援によって改善された航空管制施設が長期にわたり有効活用されていない状況、また日々発展する航空管制システムに対応し得る訓練の未整備等の深刻な課題に長年直面している。このような状況を踏まえ、マラウイ政府は日本政府に対し、航空安全に係る人材を育成する技術協力を要請し、日本政府は、航空管制官および航空管制システムの運用維持管理に係る能力開発を目的に技術協力を実施することにより、航空輸送の安全性確保、ひいてはマラウイの経済発展に貢献するとして、本技術協力プロジェクトの実施を決定した。ジャイロスは、本プロジェクトにおいて航空管制に係る訓練の実施や訓練のシラバス及び教材の作成などを通じ、航空管制や航空管制施設維持管理に携わる人材育成の支援を行った。

受注形態：共同（主）

業務内容：技術訓練、訓練シラバス及び訓練教材の開発

プロジェクト期間：2014年4月～2016年5月

プロジェクト内容：

〔目的〕

改善された航空保安施設を有効に活用するための航空管制業務に係る訓練が実施される。

〔業務範囲〕

1. シラバスと訓練教材の改善／整備：16コース
2. JICA専門家による教官の養成訓練：19回 / 124訓練生
3. 訓練機材の据付
 - 航空管制PCベース訓練システム
 - 航空管制技術官訓練用測定器等
 - 航空管制官シミュレータシステム
4. 教官・管理者向け第三国研修：4回 / 26訓練生

期待される成果：

- 下記の各種業務に係る訓練が改善される
 - 航空管制や飛行情報
 - 航空情報と航空通信
 - 電子技術
 - 電気/機械技術